

# 2019年度 事業報告書



公益財団法人 吉田記念テニス研修センター

# 2019年度 事業報告書(案)

## 目 次

### ■テニス部門

#### I. 普及プログラム事業（公益目的事業1）

アダルト・ジュニア	1
プロジェクト	3

#### II. 選手育成事業（公益目的事業2）

レベルアップ	4
フューチャーズ	5
ハイパフォーマンス	11
車いす	12
トーナメント	14

#### III. 指導者育成事業（公益目的事業3）

研修	16
----	----

#### IV. フィットネス・ケア事業（公益目的事業4）

フィットネス・ケア	20
フロント	24

### ■収益・その他部門

#### V. プロショップ事業（収益事業1）

プロショップ	25
--------	----

#### VI. 賛助会（Le Club TTC）事業（その他事業1）

賛助会	28
ヴォランティア	30
Le Club TTC	32

### ■管理部門（法人会計）

経理	36
広報	36
企画	39
施設管理	40
経営その他	42

## 2019年度 事業報告書

### テニス部門

#### I. 普及プログラム事業（公益目的事業1）

##### 1. 総括

現在3歳～89歳までの年齢の方がプログラムに在籍し、初心者から上級者までが楽しめるプログラムを提供している。安定収入の基盤となるレギュラー人数は、月平均目標1,388名に対し実績1,318名（達成率95.0%）で目標を70名下回った。収入は、予算181,155千円に対し実績が177,220千円（達成率97.8%）で3,935千円計画を下回った。

取り組みとしては、ジュニアの進級証の発行を始めた。また、スタッフでは、千代コーチが研修を終え1月からレッスンを担当し順調である。

##### 2. 実績

(1) 売上目標 181,155 千円 実績 177,220 千円 達成率 97.8% 目標比△3,935 千円  
( 2018 年度 実績 172,278 千円 対前年比+4,942 千円 )

内訳

###### ◇ アダルト

売上目標 123,474 千円 実績 123,706 千円 達成率 100.2% 目標比+232 千円  
( 2018 年度 実績 119,445 千円 対前年比+4,260 千円 )

###### ◇ ジュニア

売上目標 57,681 千円 実績 53,514 千円 達成率 92.8% 目標比△4,167 千円  
( 2018 年度 実績 52,832 千円 対前年比+681 千円 )

(2) 月平均人数目標 1,388 名 実績 1,318 名 達成率 95.0% 目標比△70 名  
( 2018 年度 実績 1,362 名 対前年比△44 名 )

内訳

###### ◇ アダルト

レギュラー目標 775 名 実績 764 名 達成率 98.6% 目標比△11 名  
( 2018 年度 実績 769 名 対前年比△5 名 )

###### ◇ ジュニア

レギュラー目標 613 名 実績 554 名 達成率 90.5% 目標比△59 名  
( 2018 年度 実績 593 名 対前年比△39 名 )

(3) フリーチケット&プライベートレッスン

売上目標 11,274 千円 実績 11,382 千円 達成率 101.0% 目標比+108 千円  
( 2018 年度 実績 11,831 千円 対前年比△449 千円 )

内訳

###### ◇ フリーチケット

売上目標 8,286 千円 実績 7,511 千円 達成率 90.7% 目標比△774 千円  
( 2018 年度 実績 8,083 千円 対前年比△571 千円)

◇ プライベートレッスン

売上目標 2,988 千円 実績 3,870 千円 達成率 129.5% 目標比+882 千円  
( 2018 年度 実績 3,748 千円 対前年比+122 千円 )

(4) 入会率

◇ アダルト 目標 65% 実績 57.6% 目標対比△7.4%  
( 2018 年度 実績 71.7% 対前年比△14.1% )

◇ ジュニア 目標 90% 実績 95.5% 目標比+5.5%  
( 2017 年度 実績 100.0% 対前年比△4.5% )

(5) 退会率

◇ アダルト 目標 1.5% 実績 1.2% 目標比+0.3%  
(2018 年度 実績 1.5% 対前年比+0.3%)

◇ ジュニア 目標 2.0% 実績 2.0% 目標比±0%  
(2018 年度 実績 2.1% 対前年比+0.10%)

(6) 新規入会&紹介キャンペーン

春と秋の 2 回、新規入会&紹介キャンペーンを実施した。

目標 160 名 実績 163 名 達成率 101.9% 目標比+3 名  
(2018 年度 実績 171 名 対前年比△8 名)

内訳

◇ 春 目標 100 名 実績 92 名 達成率 92.0% 目標比△8 名

◇ 秋 目標 70 名 実績 71 名 達成率 101.4% 目標比+1 名

※秋の目標を春の未達人数を目標に上乘せし 60 名から 70 名に変更

3.活動報告

(1) フリーチケットの買い足し期限延長サービスを 2 月に廃止した。

(2) 楽楽テニスを 21 回開催し、延べ 702 名の参加があった。逆井テニスコート（柏市営コート）への出張教室を 23 回開催し、延べ 255 名の参加があった。逆井テニスコートが使用できない 1~2 月には、TTC にてトリプルスを実施し、22 回開催し、延べ 184 名の参加であった。また、楽楽テニスのステップアップの場としてマンデーグリーンを開設。30 回開催し、163 名の参加であった。

(3) ジュニアプログラム保護者会を 6 月に行い、延べ 113 名の参加であった。

(4) ジュニアの進級者に対して進級証の発行を 7 月より開始した。

(5) イベント・トーナメント

①トーナメント

- KAZUKO 杯 34 組 (2018 年度 38 組)
- レディースチーム 12 チーム (2018 年度 25 チーム)

## ②アダルトイベント

- ステップアップダブルス (4回) 66名 (2018年度 82名/6回)
- テニス合宿 16名 (2018年度 24名)
- 雑賀杯TTC予選 41名 (2018年度 53名)

## ③ジュニアイベント

- チャレンジマッチ (4回) 111名 (2018年度 162名/5回)
- H強化試合 (11回) 119名 (2018年度 106名/7回)
- ピヨピヨ親子ショートテニス教室 (2回) 161組 (2018年度 165組/2回)

## ④車いすイベント

- ライオンズカップ 10名 (2018年度 14名)

## ⑤コーチ企画イベント

上記以外にイベントを計4回実施 総参加者数74名

- 6/18 遊友ゲーム交流会 計27名
- 7/14 Hクラスダブルス強化レッスン 計8名
- 11/15 忙しいダブルス 計22名
- 12/13 コンディショニングテニス 計17名

## (6) 地域貢献

- 柏たなかファミリーフェスタ 5/11 テニスコーナーにコーチ派遣
- 花野井ふれあい祭り 8/11 テニスコーナーにコーチ派遣
- 東京大学テニスレッスン 計14回 コーチ1名派遣
- 田中幼稚園テニスレッスン 6/12 コーチ3名派遣
- 柏市障がい者スポーツ体験交流事業 計3回 コーチ2名派遣

## (7) スタッフ研修

- コーチ研修を、千代コーチ7回、吉田コーチ3回行った。
- 碓谷コーチがテニス事業協会主催の支配人養成塾に2回参加した。
- 小林コーチがテニス事業協会主催のコーチング講座に3回参加した。
- 古澤コーチがテニス事業協会主催の安全セミナーに1回参加した。
- 3月に行われるJTAカンファレンス2020に2名参加予定だったが開催中止となった。

## 【プロジェクト】

### 1. 総括

ドームが完成(2019年2月末)し、本格稼働に向けた取組みの一年目としては稼働率では無く使い方は多岐に亘り使用ができた。英国チームの事前合宿やプロの使用、フューチャーズの雨天練習やジュニアの雨天時練習など多岐に亘って使い方が試行できたことは大きかった。

## 2. 活動実績

### (1) Play Sight の活用

代理店との契約を更新しなかったことから、調整が付き本稼働には至らなかった。

### (2) 柏市との指定管理事業の推進

指定管理事業者が変更となったが、昨年度略同数の延べ利用者 285 名であった。

### (3) 柏市教育委員会との協働連携(目標 4 校/400 千円)

障害者スポーツ体験交流事業の 3 年目として、今年度 4 校を実施し 400 千円の収入となった。3 年計画で進めて来た結果、延べ 27 校/3, 214 名の生徒に指導と触れ合いが出来たことは東京 2020 年のパラリンピックに向けて大きな収穫となった。

### (4) 柏市保険事業利用助成金の活用

今年度、柏市医療保険事業利用助成金(運動事業)の対象事業(TTC)として活用事業を進めたが、結果 2 名/6 千円のみ使用となった。

### (5) 第二インドアの活性化について

1・2 番のドームコートの稼働率は 64%とまずまずであった。稼働率以上に、イベントでの活用の仕方や英国チームの事前合宿などシチュエーションによつての利用はドームのメリットが活かされた場面もあった。

## II. 選手育成事業(公益目的事業 2)

### 【レベルアップ】

#### 1. 総括

在籍人数は目標を大きく上回って進めることが出来た。入会者を増やすためにチャレンジマッチなどをきっかけに普及コーチへコミュニケーションを積極的に行い、候補となるジュニアに対して入会を勧めることができた。9 月期からは週 5 日がコーチ 3 人体制となり、在籍人数に対するコーチの人数も適正化し、在籍人数が増えても練習の質を落とさずに活動ができた。また、コーチ帯同の大会でも各カテゴリーで多くの選手が入賞することができ、Futures への進級も年間で 8 人が合格することができた。計画していたイベントも滞りなく実施することができ、本年度では蚊口コーチが各イベントで企画・運営など軸となって活動し、レベルアップ全体に対し責任感を持って業務に当たることができた。今年度の反省点としてはオムニ練習と対抗戦は雨天中止になり、それらに代わるイベントを打ち出すことができなかった。スケジュールとスタッフィングの調整ができずに企画ができなかったので来年度への課題としたい。引き続き在籍人数を目標に到達させ、コーチ 3 人体制を維持しつつ、練習の質を落とさずに運営し、Futures プログラムへの移行をスムーズに行っていく。

#### 2. 実績

(1) 在籍人数目標 18 人 実績 24 人 目標比+6 名 (133.3%)

入会目標 10 人 実績 15 人 目標比+5 名 (150%)

\*フューチャーズ入会テスト 9 月:1 名 3 月:7 名 合格

(2) 売上

会費売上目標 6,868千円 実績 9,281千円 達成率 135.1% 目標比 +2,412千円  
会費外売上目標 392千円 実績 847千円 達成率 216.1% 目標比 +455千円  
合計売上目標 7,260千円 実績 10,128千円 達成率 139.5% 目標比 +2,868千円

(3) イベント

- ①6月 レベルアップキャンプ 6/8-9 目標 16人 実績 20人
- ②8月 北軽井沢キャンプ
  - \*レベルアップからの参加者 目標 16人 実績 18人
  - \*目的：自立心を持たせる一歩とする
- ③9月 筑波山登山トレーニング（フューチャーズクラスと合同）実施
- ④11月 白子キャンプ（レベルアップキャンプに変更）11/16-17 実績 24人
- ⑤12月 対抗戦 12/7 雨天中止

(4) 保護者とのコミュニケーションと情報共有（全体ミーティング年間3回）

- ①4月13日： 指導方針、年間スケジュール

参加選手 23人、保護者 27人参加  
個別面談を全家庭と実施

- ②6月15日： 公認大会について

参加選手 25人、保護者 30人参加

- ③9月14日： 夏のフィードバック

参加選手 22人、保護者 25人参加  
個別面談を全家庭と実施

- ④全国選抜ジュニア選手権大会のミーティングへの参加 8人参加

- ⑤科学セミナー講師によるセミナーへの参加 7人参加

(5) ヴォランティア活動への参加（ボールキッズとして大会をサポートする）

- ①全国選抜ジュニア 18人参加
- ②かしわ国際オープンテニストーナメント 0人
- ③全日本選抜車いすテニスマスターズ 4人参加

(6) コーチ帯同

- ①7月29日： のびす大会（松原TC）

グリーンボールの部 1位トーナメント準優勝、2位トーナメント準優勝  
オレンジボールの部 1位トーナメント準優勝、2位トーナメント優勝  
3位トーナメント優勝

【フューチャーズ】

1. 総括

1年を通してプログラムの在籍者が目標よりも多い人数で進めることができた。そして キャン





春 全体平均評価値 3.3 (男子 3.5、女子 2.9)

秋 全体平均評価値 3.3 (男子 3.4、女子 3.1)

### 3. 教育指導実績

#### (1) 全体ミーティング (年 3 回実施=4 月・9 月・1 月)

\* 4 月 13 日実施 選手 39 人、保護者 41 人参加

\* 9 月 14 日実施 選手 35 人、保護者 33 人参加

\* 2020 年 1 月 13 日実施 選手 37 人、保護者 36 人参加

#### (2) 全国選抜ジュニアのシンポジウム (5 月) \*U12・14 の選手対象

\* 5 月 17 日実施 フューチャーズ低年齢選手 17 人参加

内容: 「データ解析から見えること」

講師: 櫻井隼人 氏 (ナショナルチーム男子ジュニアヘッドコーチ)

中山芳徳 氏 (ナショナルチーム女子ジュニアヘッドコーチ)

川崎亮人 氏 (筑波大学大学院)

#### (3) スポーツ科学セミナー講師によるセミナー (11 月)

\* 11 月 14 日実施

講師: ダグ・マッカーディー氏 (アメリカ)

参加者: フューチャーズ、レベルアップ、保護者

#### (4) 雨の日を活用したレクチャー (随時)

\* 8 回実施 テニス向上に必要な知識と刺激を与えた

#### (5) MFA の実施 (保護者に MFA への理解を促し資格取得率を向上させる)

保護者の資格取得率 90%以上

※MFA=Medic first Aid メディック・ファースト・エイドの略称 救命救急法

\* 資格取得率 95% (年度末) 32 家族中 30 家族が取得・更新済み

### 4. キャンプ・強化練習会

#### (1) 白子キャンプ (年間 2 回)

##### ① 1 回目: 7 月 6 日-7 日実施

フューチャーズ選手 19 人参加

コーチ: 森、穂積、吉部、立山

7 日はあじさい MTS の選手と対抗戦を行なった

##### ② 2 回目: 2020 年 2 月 22 日-23 日

フューチャーズ小中学生男子 13 人参加、卒業生高校 3 年生 3 人

コーチ: 蚊口、吉田、立山

卒業生の高校 3 年生がコーチ役として参加してくれ協力してくれた

##### ③ 3 回目: 2 月 29 日-3 月 1 日

フューチャーズ U12/14 女子 5 人参加

コーチ: 穂積

新型コロナウイルスが懸念されたが細心の注意を払い実施した

(2)北信越交流会（年間2回＝5月、12月）

①1回目：4月27日－28日実施

北信越ジュニア選手8人参加(U14男子2、U14女子2、U12男子2、U12女子2)

27日はフューチャーズの練習に参加、28日は交流試合を実施した

交流試合はTTC選手13人、外部選手3人参加（ロイヤルSC2人、SYS1）

②2回目：12月21日－22日実施

北信越ジュニア選手4人参加(U14男子1、U14女子1、U12男子1、U12女子1)

21日は13時～17時半でテニスとフィットネスに参加、22日は交流試合を実施した

交流試合はTTC選手9人、外部選手23人参加（ミナミグリーン5、ロイヤルSC4、More-Tennis4、志津TC3、VIP3、グリーンTP2、SOL/あじさい/シード各1）

(3)フランスキャンプ（8月下旬）

①8月16日－28日実施

参加：6人（フューチャーズ選手5人、福井県ヤスマGTC選手1人）

帯同：蚊口

昨年のスポーツ科学セミナーの講師であるジョン-フィリップ・フルリアン氏のご協力により充実した素晴らしいキャンプとなった。ジョン氏にはホームステイ

からレッスン、そしてスケジュールのアレンジもしていただいた。ジョン氏の

コネクションRoland Garrosでも練習できたのは選手にとって貴重な経験となった。※ジョン-フィリップ・フルリアン氏：プロテニスプレーヤーとして15年活躍（シングルス最高37位）、フランスのデ杯代表としても活躍

(4)北軽井沢キャンプ（7月下旬）

①7月24日－27日実施

選手47人（TTC選手31人、北信越選手16人）

コーチ11人（TTCコーチ7人：稲葉、森、古澤、穂積、立石、千代、川崎）

（北信越コーチ4人：内山コーチ、中川コーチ、細川コーチ、岡村コーチ）

(5)TTC主催によるITFジュニア海外遠征（6月）

①ITF Jr G5 ニューカレドニア遠征 6月7日－23日実施 2大会出場

参加：フューチャーズ選手5人

帯同：稲葉

②ITF Jr G4 ニュージーランド遠征 1月16日－2月2日実施 2大会出場

参加：フューチャーズ選手6人

帯同：稲葉

(6)筑波山トレーニングキャンプ（9月）

①9月29日実施

参加：フューチャーズ23人、レベルアップ20人、保護者10人＋選手の兄弟

スタッフ：7人（吉部、森、稲葉、宇治野、立山、吉田、川崎）

#### (7)トーナメント帯同実績

##### ①全国大会とその全国大会につながる関東/県予選

\*全国大会の帯同

MUFG ジュニア（愛知）4月 森

全国小学生（東京）7月 穂積・蚊口

インターハイ（宮崎）8月 森

全日本ジュニア（大阪）8月 森、蚊口

全国中学生（大阪）8月 森

RSK 全国選抜ジュニア（岡山）10月 稲葉

中牟田杯（福岡）11月 森

##### ②G4などの下部大会（KTA杯、千葉U18）

\*帯同なし

##### ③海外 ITF Jr（6月）

\*ITF Jr G5 ニューカレドニア遠征 6月7日-23日実施 2大会出場

選手：5人参加（渡辺、松野、細野、河野、古賀）

帯同：稲葉

古賀のシングルスは2大会ともベスト4、ダブルスは準優勝と優勝と健闘した

渡辺のダブルスが2大会とも準優勝であった

松野と海外 ITF Jr 初出場の細野・河野は残念ながらポイントの取得はできなかった

\*ITF Jr G4 ニューゼaland遠征 1月16日-2月2日 2大会出場

選手：6人参加（渡辺、松野、細野、前田、古賀、仙波）

帯同：稲葉

渡辺と古賀のみポイントを取得、前田は海外 ITF Jr 初出場であった

##### ④国内 ITF Jr（大阪 Super Jr、名古屋 Japan Open Jr）

\*ITF Jr GA 大阪 Super Jr 10月11日-14日

選手：1人出場（古賀）

帯同：森

#### (8)スタッフ育成計画

##### ①共通理解と認識の向上

\*毎週水曜の育成コーチミーティングにて練習の質の向上のために積極的な意見交換を行なった

##### ②コミュニケーション能力の向上

\*予定通り3回の全体ミーティングと3者面談を実施し、選手・保護者との共通理解を図った。また「Daily Note」や「グループ LINE」を活用してコーチ間の情報共有のスピードを上げ選手の育成に役立てた。

③英語力の向上

\*穂積、森、蚊口が TOIEC を受験した

④外部とのコネクションづくりと情報収集

\*試合の帯同でできた外部とのコネクションで対抗戦や情報収集に活かした

⑤コーチライセンスのアップグレード

\*今年度のアップグレードはなかった

⑥日本テニス協会主催レベルの講習会に参加する

\*12月14,15日 S級エリートコーチレベルアップ研修会に稲葉が参加

(9)テニス協会との協力

\*千葉県テニス協会への協力

・海外派遣強化事業 ITF Jr ニューカレドニア遠征 6月7日-23日 稲葉派遣

・デュッセルドルフ市とのスポーツ交流事業引率 8月4日-10日 稲葉派遣

・KTA 杯千葉予選大会運営役員 9月22日-23日 稲葉派遣

・MUFG Jr 千葉予選(天台) 2020年1月5,12日 森派遣

(10)UTR について

今年度アップデートはなし

(11)6月より料金の改定について

計画通り6月に料金の改定を行なった

5.経費計画と実績

年間100千円を超える支出

①千葉県ジュニア 200千円 (レンタルコート 170千円、帯同費 30千円)

\*実費161千円(81%) (レンタルコート 133千円、帯同費 28千円)

②MUFGジュニア 120千円 (レンタルコート 10千円、帯同費 110千円)

\*実費80千円(67%) (レンタルコート 7千円、帯同費 73千円)

③関東ジュニア 320千円 (レンタルコート 120千円、帯同費 200千円)

\*実費332千円(104%) (レンタルコート 130千円、帯同費 201千円)

④インターハイ ※事業計画では帯同予定しておらず支出予算なし

\*実費70千円(レンタルコート 0千円、帯同費 70千円)

⑤全日本ジュニア 630千円 (レンタルコート 130千円、帯同費 500千円)

\*実費445千円(71%) (レンタルコート 166千円、帯同費 278千円)

⑥全国中学生大会 200千円 (レンタルコート 20千円、帯同費 180千円)

\*実費64千円(32%) (レンタルコート 1千円、帯同費 63千円)

⑦中牟田杯全国選抜 145千円 (レンタルコート 15千円、帯同費 130千円)

\*実費125千円(86%) (レンタルコート 28千円、帯同費 97千円)

⑧RSK全国選抜 100千円 (レンタルコート 10千円、帯同費 90千円)

\*実費129千円(129%) (レンタルコート 1千円、帯同費 128千円)

⑨オムニ/クレール練習レンタルコート（育成強化のため）100 千円

\*実費 119 千円（119%）

予算 1,815 千円

実費 1,525 千円（84%）

## 【ハイパフォーマンス】

### 1.総括

2名の選手が自己世界ランキングを更新することができた。予選ではあるがGS大会にも挑戦でき、良い流れが作れてきた。フューチャーズプログラム出身プロの成長過程は今後のジュニア育成で活用できると感じる。新規ツアーコーチの採用はなく、昨年同様にホームコートでの練習とコーチ帯同のバランス、また試合数が多くなった際に身体のリカバリーが間に合わず大きな怪我に繋がるリスクは課題として残る。

### 2.実績

(1)売上目標 2,880 千円 実績 2,408 千円 達成率 84% 目標対比△472 千円

(2018 年度 実績 3,180 千円 前年対比△772 千円)

(2)目標人数 5 名 実績 4 名 達成率 80% 目標対比△1 名

プログラム在籍詳細

◇プレイヤーズ 3 名

◇トランジット 1 名

(3)選手実績（2019 年度末世界ランキング）

◇プレイヤーズ

目標

結果

松井俊英 D：100 位 D：184 位(S では世界再年長ランキング保持)

美濃越舞 S：200 位 S：709 位

村松千裕 S：250 位 S：208 位(最高ランキング 205 位)

◇トランジット

荒川晴菜 S：400 位 S：369 位(最高ランキング 352 位)

主な戦績

◇プレイヤーズ

松井俊英 D：韓国\$125K 準優勝

美濃越舞 S：台湾\$25K ベスト 8

村松千裕 S：インド\$25K 優勝,AUS OPEN 予選 2R

◇トランジット

荒川晴菜 S：AUS\$25K 準優勝,韓国\$25K 準優勝

(4)プログラム強化

①世界で通用する技術・戦術・体力の構築

- ・自身の武器をテーマに年間を通して戦えた
- ・慢性的な怪我でリハビリに時間を要した選手が多かった
- ・試合数が多く、身体のリカバリーが追いつかないケースが多く見られた

#### ②コアトーナメントの設定

- ・選手の金銭的要因やツアーコーチのスケジュールが合わず未実施
- ・フィットネステスト リハビリや天候不良のため未実施となった

#### ③ツアー帯同

- ・長久保コーチ

トルコ\$25K・AUS OPEN・京都\$15K 合計 16 日帯同

### (5)スタッフ育成計画と実績

#### ①共通理解と認識の向上

- ・SOAP ノートの活用とアプリを使った選手との情報共有
- ・育成コーチ向けの活動報告及び年間スケジュールセミナーの実施

#### ②ライセンスの取得

- ・取得なし

### (6)支出経費

なし

## 【ハイパフォーマンス車いす】

### 1.総括

2020 年東京パラリンピックへ向けての 3 年目が終了した。2019 年度はプログラムとしては新体制となり、担当コーチ制度を導入してより個々に合った密なサポート体制の中で日本代表入りをかけた追い込みの 1 年となった。ベテラン選手勢がトップのランキングを保持する一方で、若手選手のランキングの伸びも華々しく荒井選手と宇佐美選手がそれぞれキャリアハイのランキングを更新するなど、パラリンピックへ向けて勢いをつけた。残念ながら、コロナウイルス感染拡大防止のために東京パラリンピックが 2021 年夏に延期となってしまう、ITF の大会の再開の目途も立たない状況となってしまうが、準備期間が 1 年増えたことにより今後の強化計画の見直しが重要となる。

### 2.実績

(1)売り上げ目標 9,800 千円 実績 8,725 千円 達成率 89% 目標対比 - 1,075 千円

(2018 年度 実績 8,909 千円 前年度対比 - 184 千円)

(2)在籍人数目標 7 名 実績 5 名 達成率 71.4% 目標対比 - 2 名

#### ①在籍選手詳細

- ◇ A カテゴリー 4 名 (荒井選手トランジットからの繰り上げ、藤本選手 4 月退会)
- ◇ トランジット 1 名 (宇佐美選手新規入会、高室選手 4 月退会)

◇ ジュニア 0名（船水選手進学のため退会）

※B カテゴリー対象選手不在のため、カテゴリーを一時閉鎖

②選手実績（2019年度末世界ランキング）

◇ A カテゴリー

	目標	結果
国枝慎吾	S：1位	S：1位
眞田卓	S：7位	S：10位
荒井大輔	S：25位	S：18位
齋田悟司	S：15位	S：28位

◇ トランジット

	目標	結果
宇佐美慧	S：20位	S：24位

(3)主な戦績

①A カテゴリー

国枝慎吾	S：全英 OP（GS）準優勝、	・ USTA OP（ITF SS）優勝
眞田卓	S：バーミンガム OP（ITF2）	・ ヒルトンヘッド（ITF2）優勝
荒井大輔	S：台北 OP（ITF3）、	・ インディアンウエルズ（ITF3）優勝
齋田悟司	S：ハンガリーOP（ITF Fu）	・ 大阪 OP（ITF Fu）優勝

②トランジット

宇佐美慧	S：北九州 OP（ITF Fu）、	・ ジェール OP（ITF Fu）優勝
------	-------------------	---------------------

(4)プログラム強化

①Ann Quinn Project

予定を変更したため実施せず

②ゴールセッティング

□3ヵ月ごとのゴールセッティングを行い、遠征ごとにビデオでのプレーチェックをもとにフィードバックを行った

□ランキングの変動のある選手に対しては、随時ゴールセッティングと遠征計画の見直しを行った

③練習環境の整備

□昨年度の担当コーチの離脱を受け、各選手に担当のコーチをつけて固定の時間で個別の練習を行った

□サポートコーチを増員し、担当制にしたことで各選手を集中的にサポートすることができた

□4月にプログラムの再編成と料金改定を行った

④フィットネステストの実施

□2019年12月30日にナショナルトレーニングセンターにてJWTAと合同でのフ

フィットネステストを実施し、結果の返却とともに選手にフィードバックを行った

⑤ツアー帯同サポート

□Japan Open (飯塚)

日程：2019年4月23～28日

帯同：岩見 HC、穂積 C、Jason C、宇治野 T

結果：国枝 S：優勝 D：準優勝

真田 S：QF D：準優勝

荒井 S：1R D：QF

宇佐美 S：2R D：1R

□三井不動産全日本選抜車いすテニスマスターズ

日程：2019年12月13日～15日

結果：齋田 優勝

荒井 3位

宇佐美 準優勝

(5)支出経費

①Japan Open 帯同 294 千円

【トーナメント】

1. 総括

年間計画したトーナメントの内、ブロッホカップについては高校生大会が日程の調整がつかず未開催、また2月大会についても雨天中止となり、計画を大きく下回る結果となった。またフリーエントリーであるPrince 関東ジュニアテニスツアーとピーナッツカップについては、参加者数の減少に伴い計画を下回った。その他の関東公認大会については、確実に使用できるコート面数が8面から6面に減少したことに合わせて申し込み定員や日程を縮小した中で、おおむね計画通りに大会を運営できた。その背景として、当初は大会での使用を想定していなかった1・2番コートについて、フロントや育成部門からの協力のもと、当日の利用状況をみながら柔軟に対応いただけたことも大きな助けとなった。

2. 実績

ジュニアトーナメント	収入計画	収入実績
ヨネックスアーリーサマー	1,000 千円	1,053 千円
ブロッホカップ高校生	200 千円	0 千円
ブロッホカップ小・中 2月	200 千円	0 千円
ブロッホカップ小・中 5月	200 千円	183 千円
ブロッホカップ小・中 8月	200 千円	285 千円
ブロッホカップ小・中 9月	200 千円	204 千円
全国選抜ジュニア	1,000 千円	1,049 千円



関東ジュニアテニスツアー	3,500 千円	3,244 千円
TTC12・14才 オータム	1,000 千円	1,041 千円
TTC16才	500 千円	652 千円
ヨネックスオータム	1,000 千円	1,053 千円
ピーナッツカップ	10,000 千円	8,807 千円
TTC18才	500 千円	377 千円
ヨネックスウインター	1,000 千円	1,133 千円
TTC12・14才 スプリング	1,000 千円	975 千円
ジュニアトーナメント総額	21,500 千円	20,056 千円 (達成率 93.3%)
(2019年度 実績 22,910 千円		前年対比△2,854 千円)

### 3. 活動実績

- (1) 実施計画・終始実施報告書のイベント実施後1か月以内の提出を徹底し、イベントの準備、進捗状況をスタッフ全体で共有し、質の向上を図った。
- (2) WEBエントリーによる申し込み処理の運用も精査され、昨年度途中よりプロッホカップでも採用し、大きな問題もなく継続して運用した。
- (3) ジュニアトーナメントにおいては、TTCの大会に参加する意義を高めるため、要項を見直し、一部内容や文言の改訂を行った。また、選手・関係者とのコミュニケーションによって質の改善につとめた。
- (4) 質を保った運営のため、千葉県女子審判部の方々などに多大なご協力を頂いた。

### 4. 主要イベント

#### (1) A グレード

- ①第20回 ITF かしわ国際オープンテニストーナメント  
来場者数 2,638 人 (対前年比△692 人)
- ②第27回 レディースチームテニス大会  
参加選手 86 人 (対前年比△65 人)
- ③第7回 かしわスポーツフェスティバル  
来場者数 3,300 人 (対前年比+1,100 人)
- ④第29回 三井不動産車いすテニスマスターズ  
来場者数 834 人 (対前年比△126 人)
- ⑤第27回 KAZUKO 杯  
参加選手 68 人 (対前年比△8 人)

ジュニアイベント・トーナメントは勿論のこと、プロの ITF 大会や車いすテニス大会、無料開放したか各種スポーツ競技の体験イベント、高齢者も参加するレディース大会など、老若男女が楽しめるイベントを20年以上にわたって実施している。

### III. 指導者育成事業 (公益目的事業 3)

## 【研修】

### 1. 総括

総じてテニス指導者およびTTCスタッフに対し必要な研修は行えた。MFAに関しては新規受講者も多く引き続き啓蒙活動は行えた。スポーツ科学セミナーは地域協会との連携を進めるべく取り組んだが、各地域協会との指導者育成に対する取り組みの差異は依然として課題として残った。計画していた2回のスポーツセミナーのうち1回は望まぬ形で未開催となったが、来年度以降の情報発信を行いたい。スタッフ研修においては必要な事項は概ね網羅できた一方、アウトプットの質の向上が課題であり、スタッフから発信をすることを来年度以降取り組んでいきたい。

### 2. 年間売上実績

実績	1,792 千円	(年度目標 2,159 千円 83.0%、前年比 83.3%)
内訳：MFA	499 千円	(予算対比 114%、前年比 119%)
科学セミナー	1,177 千円	(予算対比 73%、前年比 88.8%)
スポーツセミナー	46 千円	(予算対比 38%、前年比 15%)
9月末実績	46 千円	(年間予算対比 38.7%、YTD 対比 77.4%)

### 3. 活動実績

#### (1) スポーツ科学セミナー：

テーマ：トップへと導くコーチング論

講師： Doug MacCurdy 氏 (Dave Miley 氏から変更)

日程： 11/9 (関西)、11/10 (九州)、11/12-13 (TTC)、11/16 (東北)、11/17 (北信越)

共催： 公益財団法人日本テニス協会

スポンサー： アメアスポーツジャパン株式会社

開催実績： 大阪 34名、九州 36名、TTC 78名、70名、東北 32名、北信越 47名

延べ 297名 内 TTC 会場 148名 (前年 288名、内 TTC 会場 125名)

責任者： 吉部アシスタントディレクター、補佐： 宇治野トレーナー、通訳： 稲葉コーチ

活動実績：

- ・各地域協会関係者とも議論を行ったが、引き続き次年度以降も課題である
- ・受講証明書の準備が行なえず、付与は見送った
- ・Web 配信を検討したが、配信準備が整わず、見送った

#### (2) スポーツセミナー

対象： 関東地域テニスコーチ、運動指導者： 集客目標 15-20名

責任者： 吉部マネージャー

##### ①スポーツセミナー (I)

テーマ： 「テニスサーブにおけるスウィングスピード獲得の力学」

講師： 村田 宗紀氏 (鹿屋体育大学)

日程： 2019年4月29日実施

参加者：16名(内外部11名、TTCスタッフ5名)

②スポーツセミナー(2)

テーマ：「あそびのじかん」(子ども向け、大人向け共催)

講師： 嶋村 仁志氏 (一般社団法人 TOKYO PLAY 代表理事)

日程： 2020年3月21日

後援： 柏市

以上の計画をしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため後援の柏市から自粛要請があり、次年度以降へ延期とした

③クリニック/キャンプ/シンポジウム

かしわ国際オープン・特別講演

テーマ：「スポーツビジネスと地域の活性化について」

パネラー：間野義之氏

司会： 岩見ヘッドコーチ→吉部紳介

対象： 協賛各社、TTCスタッフ 62名(内TTCスタッフ4名、外部58名)

日程： 4月7日

責任者：石川久美子(トーナメントアシスタントディレクター)

④全国選抜ジュニアテニス選手権大会・シンポジウム

テーマ：「データ解析から見えること」

パネラー：櫻井隼人(ナショナルチーム男子ジュニアヘッドコーチ)

中山芳徳(ナショナルチーム女子ジュニアヘッドコーチ)

川崎亮人(筑波大学大学院)

司会： 岩見ヘッドコーチ→森寛志(大会ディレクター)

対象： 参加選手・コーチ・保護者

実施日： 2019年5月17日

実施実績：参加189名

責任者： 岩見ヘッドコーチ(トーナメントディレクター)→森寛志

(3)リサーチ

① 全国選抜ジュニア アンケート・参加者データ・マッチチャータニング

準備期間： 2019年5月1日～

実行期間： 2019年5月16～19日

レポート： 2018年6月30日

スタッフ： TTCコーチ

責任者： 岩見ヘッドコーチ、林フィットネストレーナー

活動実績：14試合分のデータを記録。スタッフ研修にて元スタッフの川崎氏の分析も含めて情報共有を行った

②ピーナッツカップ アンケート (練習状況、使用用具メーカー等)

実行期間：2019年12月25～31日

レポート：2020年1月31日

スタッフ：TTCスタッフ

責任者：長塚勝美部長

活動実績：1003名（男子647名、女子356名）の回答を得て、長塚部長より情報が整理・シェアされた

#### (4) インターンシップ及び講師派遣

①講師派遣実績 28件、取材対応実績(有償) 8件

②5月22、23日にJSSグループ(新潟、富山)より14名が来訪。テニスコーチング(普及、育成)、フロントの分野で2日間の研修を行った。

#### (5) スタッフ研修

①新人研修及び研修会

新入コーチ3名に対し実施した

②スタッフ研修

以下のテーマに沿って21項目実施、別途クリーンデー5回、研修フィードバック等10件実施した

##### □What's TTC

TTCフィロソフィー、ミッションの共有

ボードメンバー

事業アセスメント

ボードメンバー

他事業視察

各スタッフ

施設メンテナンス・クリーンデー

穂積コーチ

##### □Skill & Knowledge

TTCのテニスの基本

岩見ヘッドコーチ

サービスの基本

板谷企画主任

緊急時対応・応急処置

宇治野トレーナー

レッスンの質

古澤マネージャー、穂積コーチ

フィジカルの基本

吉部マネージャー

科学セミナー講師による講義

科学セミナー講師、吉部マネージャー

#### (6) その他研修

①アンチドーピングセミナーの実施

・全日本ジュニア出場選手

実施日：2019年7月27日

担当：宇治野 T

参加人数：6名（全日本ジュニア出場選手）

- 薬を飲む際の注意点や、実際のドーピング検査の手順の確認を行った

プロ、車いす選手

□講師の慶応義塾大学田畑尚吾先生のスケジュールの都合で3月の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防の関係で講習会は中止となった

□選手には2020年の変更点等情報共有を行った

②各セクションで必要とされる専門的なセミナーの開催

水曜朝のスタッフ研修の時間を使って累計7回実施した

③MFA (Medic First Aid)

対象：TTC 全スタッフ、フューチャーズ・レベルアップコースの新加入選手の保護者、ヴォランティア、トーナメント関係者、一般希望者

責任者：宇治野 T

開催実績：受講者数 61名(スタッフ 30名、ジュニア保護者 30名、一般 1名)

5/4 (更新・新規) 13名、6/16 (更新) 10名、8/31 (新規) 11名、10/26 (更新) 7名、12/7 (新規) 9名、2/9 (更新) 11名

育成プログラム保護者の資格継続率：目標 90% 実績 96.6% (昨年度末 96%)

スタッフ育成計画：インストラクター資格取得は予定していたスタッフの退職など、体制が整わず見送った(スタッフ1名は退職)

④ジュニア選手の両親へのインフォメーション、ライセンス関係

各セクションで全体ミーティングや掲示板等で情報を発信した

プレーヤーズプログラム：岩見ヘッドコーチ

フューチャーズプログラム&レベルアップコース：森コーチ、穂積コーチ

フィットネス・研修プログラム：吉部アシスタントディレクター

スクール事業 Tennis Play+Stay プログラム：古澤マネージャー

ヴォランティア：サービス事業部長塚部長

コーチライセンス(ライセンス更新含む)・外部研修参加等：ボードメンバー

#### IV. フィットネス・ケア事業（公益目的事業 4）

##### 【フィットネス・ケア】

###### 1. 総括

基本方針のうち、「より広く体力づくりの重要性と楽しさを伝える」に関してはスタッフの入れ替えもあった中で積極的に取り組み、成果も上げられた。「アスリートを育てる」、「自律、自立の出来る選手を育成する」に関してはフィットネストレーニングの計画と実行においてはしっかりと行えた一方、選手を育てる上でフィットネス以外の要素まで網羅したトータルコーディネートをリードしていくことがセクションの課題として残った。遊育くらぶは定員を増枠して取り組み、「生きるチカラ」を育てるという方針に対して一定の成果は得られたが客観的な説明とスタッフの質の向上は来年度の課題として取り組みたい。

来年度は再度原点に立ち返りフィットネスセクションとしての基盤構築に努めたい。

###### 2. 売上実績

①フィットネス部門の売上	目標	14,971 千円
	実績	14,847 千円 (予算対比 99%、前年比 177%)
【コーディネーション教室】	実績	183 千円 (予算対比 26%、前年比 44%)
→ 【わくわく運動教室】に名称変更(5月)		
【トレーニング】	実績	2,306 千円 (予算対比 94%、前年比 107%)
【ケア】	実績	888 千円 (予算対比 174%、前年比 88%)
【遊育くらぶ】	実績	10,524 千円 (予算対比 100%、前年比 134%)
【その他イベント】	実績	194 千円 (予算対比 57%、前年比 59%)

###### 3. 活動実績

###### (1) フィットネストレーニング

###### ①ハイパフォーマンスプログラム

- ・トレーニング計画作成、実施、チェックにおいて新スタッフとの共通理解を図った。精度の向上については引き続き取り組む必要がある。
- ・遠征中のトレーニング計画については選手への教育を行った
- ・フィットネステストは1月～3月で実施を計画していたが、選手のコンディションの問題と天候の不順も重なり、実施はできなかった

###### ②フューチャーズプログラム

- ・フィットネステストの結果を基に、底上げが必要な要素を中心に週間の計画を実行できている
- ・怪我人が増加したことに関しては、内容と量と質の観点から来年度への課題とする
- ・フィットネステストを2度実施し、平均評価値は4月 3.2 9月 3.3であった
- ・瞬発系および柔軟性の改善は引き続き課題である
- ・フィットネステストにおいては成績優秀者 10名の掲示を行った

- ・外部委託によるデータの整理により、成長曲線から適性を把握できてきた

### ③レベルアップコース

- ・フィットネステストを2度実施し、平均評価値は4月3.0 9月3.1であった
- ・フィットネステストの結果をチャレンジシートや週間のトレーニング計画に活用して実行した

### ④一般プログラム

- ・一般の顧客のフィットネストレーニング指導実績  
延べ478名に対し実施 (30分 227名、60分 251名)
- ・フィットネス料金の値上げを6月に行った。
- ・保護者や児童への親しみやすさを改善すべく名称を「わくわく運動教室」へと変更し、資料や動画を用いて啓蒙を図ったが、集客の効果としては少なかった
- ・コーディネーション教室の日曜開催を模索したが、スタッフの体制・配置の変更により2019年度の実施は見送った。
- ・来年度開講のわくわく運動教室の平日レッスン化の準備を進めた
- ・普及ジュニアを対象にフィットネステストを行い、フィードバックを行った。また成績優秀者の結果をジュニアボードおよび2階テーブルに掲示した

## (2) ケア

### ①ハイパフォーマンスプログラム

- ・ケア利用延べ件数
  - プレーヤーズ 145件 (内、ケガ件数4件) 前年度比+19件 (ケガ+3件)
  - 車いすプレーヤーズ 87件 (内、ケガ件数1件) 前年度比-108件 (ケガ-1件)
- ・アスリートとしての自立を促すことを目標とし、遠征後のコンディションに合わせてコンディショニングメニューの処方を行った
- ・特に車いす選手に関しては、パラリンピック出場へ向けてトーナメント出場過多によるオーバーワークが見られたため、食事や睡眠を中心としたリカバリーに対する示唆を入れた
- ・JISSやナショナルトレーニングセンターと協力して、強化対象選手の体組織データの共有をしてもらい、選手のコンディションの把握と課題の明確化に努めた
- ・JWTAからの依頼により、4大会(カナダ、アメリカ2大会、オーストラリア)の帯同を受託した
- ・アンチドーピングセミナーは3月を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため講習会は中止となり、選手に対し情報共有のみを行った

### ②フューチャーズプログラム

- ・ケガ件数40件(前年比+21件)
- ・内訳: 男子23件(U12 4件、U14 9件、U16 2件、U18 8件) 前年比+10件  
女子17件(U12 0件、U14 6件、U16 7件、U18 4件) 前年比±0件

長期的（1週間以上）なりハビリが必要となったケガ8件（前年比+7件）

- ・ 昨年度に比べ男子のケガの件数の増加が見られた
- ・ 男子、女子共に海外遠征中や帰国直後のケガが多かった
- ・ 選手とのコミュニケーションの他、保護者から選手のコンディションについて相談を受けることも多く、連携を取ってのサポートが行えた
- ・ 自発的なウォームアップ、クールダウン、コンディショニングに関しては選手の入替わりもあるため同じ取り組みを継続的に行うことで定着に努めた
- ・ 4月と9月に形態測定を実施し、同時に女子の選手に対しては月経周期調査も行い、異常が見られた場合は休息や栄養指導でのフィードバックを行った

### ③レベルアップコース

- ・ リハビリ利用件数 1件 前年度比+1件
- ・ 形態測定を引き継ぎ4月と9月のフィットネステストに合わせて行った
- ・ チャレンジシートの作成は立山コーチへの引継ぎを完了した

### ④一般プログラム

- ・ ケア利用延べ件数 547件（内、リハビリ 349件）  
前年度比+135件（リハビリ+16件）
- ・ 6月にケア料金の値上げを行い、それに準じてケアチケット4回券発行を開始した
- ・ 料金の値上げに伴う利用件数の減少は見られず、逆にチケットを利用してのリピーターの増加が見られた
- ・ 引き続き身体を整える事への興味を促し、ケアからコンディショニングの習慣づけへ取り組んだ
- ・ ラウンジでのストレッチ動画の再生を行い、ケアを受けに来ない利用者にも柔軟性への意識が向くよう働きかけた

### (3) 医療機関との連携

以下の各医療機関の先生方に選手の診察や復帰へ向けてのサポートをいただいた

- ・ 柏市立病院 池川先生 4件
- ・ キッコーマン総合病院 田中先生 1件
- ・ 東京慈恵医科大学付属病院 辻先生 1件
- ・ 順天堂大学浦安病院 森川先生 ジュニア期のケガの傾向についての意見交換

### (4) 遊育くらぶ

- ・ 1日当たりの利用人数は16.2人であった(昨年度13.9人)
- ・ パートタイムを増員し、計12名のスタッフで運営を行った
- ・ 嘱託スタッフを運転手として配置することで、スムーズで安定したな運営を行えた
- ・ 夏休みに計8件のイベントを実施した
- ・ 保護者との連絡はメール、連絡ノート、お便りを通じて行なった
- ・ 有事の際を想定して避難訓練を2回件実施した(地震、火災想定)



- ・スタッフの行動指針やチェックリストを作成し、共通の知識・理解の保有を図った

#### (5) イベント

- ・あそびの日

第一日曜に7月、10月を除く計10回開催し延べ238名(平均23.8名)の参加があった

- ・シーズンイベントの実施

- ・TTC Easter

開催日時：2019年4月21日(日) 10:30～12:30

参加者数：14名(前年度比+7名)

- ・バイシクルツアー

開催日時：2019年10月20日(日) 10:00～15:00

参加者数：12名(前年度比-3名)

- ・ハロウィンパーティー

開催日時：2019年10月26日(土) 10:00～12:45

参加者数：12名(前年度比-18名)

- ・柏スポーツフェスティバル(9月)フィットネスブースの運営

約350名の来訪があった

#### (6) スタッフの育成について

- ・新規および既存スタッフのMFAインストラクター資格の取得を検討したが、スタッフ1名の退社および新規スタッフの業務状況から資格取得は見送った
- ・新規のスタッフに関して、1名は8月より独立業務をスタートさせた。更に1名はテニスコーチとしての独立業務を優先させた後に、フィットネスコーチとしての業務研修を実施
- ・フィットネスコーチ1名が7月末で退社し、また10月より1名採用した
- ・前年科学セミナー講師からの脳/性格のプロファイリング器、メンタルトレーニングコースの提案に対して、スタッフ間および外部有識者と議論を行ったが、実用性の点で運用が難しく、採用は見送った
- ・4名のスタッフが計6件の外部セミナーを受講した

#### (7) トーナメント、合宿帯同

##### ①ジュニア大会

- ・関東ジュニア(2019年7月13日～18日)

対象選手21名

- ・全日本ジュニアは英国車いすチームの合宿と重なったため帯同せず

##### ②プロ

- ・三菱全日本テニス選手権大会94th(2019年10月26日～30日)

対象選手：3名

##### ③車いす

- ・Japan Open、飯塚(2019年4月21日～28日)

対象選手：2名（眞田卓、荒井大輔）

・カナダ/アメリカ遠征（2019年9月3日～17日）

対象選手：日本代表選手12名（内、TTC選手4名）

※JWTAからの依頼による帯同

・楽天ジャパンオープン車いすチャンピオンシップス、有明（2019年10月3日～6日）

対象選手：8名（大会フィジオとしてサポート）、TTC選手3名

※JWTAからの依頼による帯同

・オーストラリア遠征（2020年1月9日～21日）

対象選手：日本代表選手14名（内、TTC選手4名）

※JWTAからの依頼による帯同

・アメリカ遠征（2020年2月11日～25日）

対象選手：日本代表選手8名（内、TTC選手4名）

※1週目はJWTAからの依頼、2週目はTTC選手の依頼を受け帯同

(8) 支出実績(10万円以上の支出)

①MFA指導者ライセンス取得

今年度の取得は見送った

②フィットネスルームの床の貼り換えを行った 820千円

【フロント】

## 1. 総括

昨年度同様安定した対応力が発揮できた。イベントやトーナメントの要項を事前にチェックする様流れを変更した事により、更に円滑にイベント受付業務を行う事が出来た。

ショップ業務ではより細かい商品紹介のPOPを設置する事でお客様により明確に分かり易く提案が出来る様になりサポート体制が向上した。

## 2. 実績

(1) 入会率の向上

目標 Ad65% 実績 57.6% 目標対比-7.4% 昨年対比-14.1%

目標 Ad90% 実績 95.5% 目標対比 5.5% 昨年対比-4.5%

## 3. 活動実績

(1) 受付・イベントのサポート(ディレクターとの事前確認が必須)では、14イベントへの協力を行った。春の入会キャンペーンでは内部装飾のチームメンバーとして2名が参加し、キャンペーンの盛り上げに貢献した。

秋の入会キャンペーンでは1名が内部担当チームリーダーとして人数管理やスタッフの士気を高め、また1名が外部チームメンバーとして出張教室に参加した。

(2) 外部セミナーの参加・人材育成では、外部セミナーに2名が6回参加した。

フロントミーティングを6月と1月に開催した。

フロントミーティング内で、外部セミナーで受けた研修をアウトプットする機会を設けた。また、5月に新潟・富山の外部施設のスタッフを数名迎え研修を2日間行った。それにより良好な関係が築け、11月には富山の施設に出張しセミナー受講及び施設見学や意見交換等を行った

### (3) 安全管理

6月に応急処置の実習研修を行った。

WBGTの計測を行い、お客様にも情報を共有する事で熱中症予防に努めた。

### (4) サービス力強化の為の情報共有と研修

①10月期の消費税増税による料金変更は、10月期からの消費税増税による料金変更に伴い、全会員の変更作業を行った。

4月より準備をスタートし、6月期(5/27銀行引き落とし分)よりスクール部門の料金改定を実施。2020年4月(3/27銀行引き落とし分)より遊育くらの料金改定を実施。いずれもミスなく作業を行う事が出来た。10月からのショップ商品の増税もスムーズに移行できた。

#### ②ショップ

7月・1月に「エレッセ」「フィラ」「ウィルソン」「プリンス」の展示会に同行。フロント全員の意見を取り入れ、2020年分の注文を行った。また、季節毎の商品をマネキンに展示する事で商品購入に繋げる事が出来た。また、「TAKEYA」の水筒を店頭販売し、尚且つプリンス関東ジュニアテニスツアー中にトーナメントデスクにPOPをディスプレイする事によって、販売促進に繋げた。クリスマス時期にはジュニアのお楽しみ袋を作成しメッセージカードをつける等の工夫を行い売り上げに貢献した。また9月1日からレジ袋を無料のビニール袋から有料の紙袋にする事で経費削減を行った。

### 4. 経費

研修費用として 22千円(2名の研修費・交通費含)

## 収益・その他事業

### V. プロショップ事業(収益事業1)

#### 1. 総括

売上予算 24,000千円に対し実績が 21,380千円と 2,620千円の未達であった。予算達成月は、上期1回(5月)と下期2回(12、1月)の3回であった。90~99%の予算達成月は2回(9、10月)であった。その他の7回は67~87%の予算達成にとどまり、昨年より苦しい状況である。売上減は、昨年から続くスクール会員の微減がさらに進んだことが影響している。その他の要因は、3点ある。1点目は、10~40代に浸透している個人売買アプリや並行輸入業者の利用者が増えていること。2点目は、メーカーが在庫を持たなくなり在庫のある他店に流れてしまうこと。3点目は、アシックスシューズ(市場シェア2割)の売り逃し分である。

ポジティブな取り組みは、ラケットとシューズの機種別 POP 作成である。これにより店頭の商品が動くようになった。あと販売好調のヨネックスのダイヤル付きシューズやインソール (Superfeet) の取り扱いなどは、顧客に必要な商品提案のヒントとなっている。

## 2. 実績

(1)売上予算計画 24,000 千円 売上実績 21,380 千円 (予算比 89.0%・前年比 94.6%)

内訳

ラケット	5,111 千円 (予算比 81.1%)
ガット・加工代	5,797 千円 (予算比 92.0%)
シューズ	2,471 千円 (予算比 61.7%)
ウェア	2,951 千円 (予算比 101.7%)
アクセサリ	2,448 千円 (予算比 97.9%)
その他	2,602 千円 (予算比 130.1%)

(2)仕入予算計画 20,000 千円 仕入実績 17,471 千円 (予算比 87.3%・前年比 93.6%)

## 3.活動報告

### (1)月間フェアの実施

#### ①試打会協賛メーカー・イベント協賛メーカー

4~6月・9~11月実施済 (月に2~3社合同開催)

ラケット・シューズ・ガット・ウェア・アクセサリの提案

#### ②毎月提案 POP 作成

9月よりラケットとシューズのショーカード作成表示を開始した

コーチの協力でグリップ商品説明 POP 作成

フロントスタッフによるタケヤサーモフラスク提案

フロントスタッフによるウェアセール POP 作成

館内テーブル及ぶオンコートへの提案 POP 作成

#### ③9月よりオンコートにデモラケットとラケット POP 設置しより理解を深めた

メーカーフェアは、SA を利用し 4~6月・9~11月お客様へ告知した

#### ④契約コーチがメーカー担当者と物販イベントを開催できる協力体制作りをした

4月ウイルソン試打会実施

9月ウイルソン足型測定会実施

11月スノワートラケット使用したジュニアイベント開催実施

3月ウイルソン足型測定会実施

#### ⑤ウェア等の改善取り組み

レディースを重点的に改善し、月2~3回マネキンの着せ替えを実施した

商品イメージを共有する為に複数で展示会に参加した

### (2)試打会

実績 5月 58本販売・11月 52本 合計 110本販売 7社参加

(3) ガット関連

ガット張り替えキャンペーン

実績 1,197 本 (6 月 354 本・10 月 414 本・2 月 429 本)

スタッフの協力と後半の張り替え人員増 (1 人) により達成

(4) DM による商品割引

① パースデーカード割引 (ラケット・シューズ・ウェア)

使用状況 102 件 (ラケット 28 件/シューズ 48 件/ウェア 25 件/バッグ 1 件※誤受)

ウェアの利用が昨年より 10 件増加した

② 年賀状割引については使用状況 35 件 (ラケット 10 件/シューズ 25 件)

シューズ利用が前年より 15 件増

③ ジュニアのカテゴリー変更割引 (ラケット・シューズ)

相談があった場合特価商材販売

(5) LPJ での商品紹介を実施した

4 月トリガーポイント&ソフソール提案実施

6 月ゴーセンガット張り替えキャンペーン案内を実施

7 月夏対策サプリメント紹介+サンプル限定数を提供

9 月ウイルソン フットウェアイベント足型測定+試し履きを実施

10 月ゴーセンガット張り替えキャンペーン案内を実施

2 月 Superfeet 体感即売会を実施

3 月ウイルソン フットウェアイベント試し履き+新作ラケット試打を実施

ゴーセンガット張り替えキャンペーン案内を実施

(6) イベントでの商品販

年 2 回開催 (5 月 18 千円/11 月 19 千円)

レディースチームブース販売 40 千円/KAZUKO 杯 21 千円

サマーミックスタブルスチームマッチブース販売 6 千円

9 月ウイルソンフットウェアイベント 4 足販売

2 月 Superfeet 体感会 20 足販売

3 月ウイルソンフットウェアイベント 7 足販売

(7) 在庫一掃セール及びブース販売の実施

7~9 月・12~3 月ウェア在庫セール実施

12~1 月フロントスタッフによる旧在庫ジュニアウェアセット販売実施

初打ちでのオリジナル福袋販売 (メーカー別) 販売 (42 点作成 26 点販売)

(8) SA のお知らせメッセージの活用したフェアやセールスの実施

4~6 月・9~11 月フェア実施

8・3 月クリアランス実施

9・3 月フットウェアイベント実施

年 3 回ガット張り替えキャンペーン実施

フェイスブックやホームページへは不定期にて掲載し最新デモラケット・シューズ・アクセサリ・イベントなどフェイスブックを中心に掲載を実施した

(9) 不定期販売イベントを開催実施した

4 月ソフソール（インソール）計測会実施

9 月ウイルソンフットウェアイベント実施

2 月 Superfeet 体感会実施

3 月ウイルソンフットウェアイベント実施

(10) 10 月消費税改定 10% 対応は通常物販の価格変更を進めた

税率計算方法の変更+店頭価格の変更を実施した

4. 契約について

2019 年度のコーチ契約新規 (1 人) 及び契約入替 (6 人) を予定通り実施した

フルタイムコーチの増員に合わせて、2 人契約した (スノワートバボラ/エレッセ)

5. 経費実績

(1) ガット張り工具予算 30 千円	実績	張り機用クリーナー	1 千円
		ガット張り受付用紙	30 千円
(2) ディスプレイ用備品予算 40 千円	実績	マネキン・キャスター	7 千円
		ラケットショーカード	3 千円
		フェイシャルカバー	1 千円
(3) その他予算 4 千円	実績	紙袋	3 千円

## VI. 賛助会 (Le Club TTC) 事業 (収益事業 2)

### 【賛助会】

#### 1. 総括

今年度は、新規個人賛助目標の 70 人に対し、入会 53 人の方にご入会頂いた。目標には届かず総会員数 552 人となった。継続率は 89.5% を維持し、練習会の参加も時期により差はあるが、年間延べ 4191 名と順調に推移し、多くの方々にご参加を頂いた。

一方、法人賛助新規入会はなく、未継続もありその結果収入実績としては 94.6% に留まった。

#### 2. 実績

① 賛助会費	予算 27,000 千円	実績 25,532 千円	94.6%
② 新規会員実績			
法人賛助会員	計画 2 社以上	実績 0 社	
継続率		実績 95%	
個人賛助会員	計画 70 人	実績 53 人	
継続率	計画 91%	実績 89.5%	

### 3. 活動報告

- ①家族会員（ファミリー会員）を新たに設け（家族2人目から割引）  
親子で参加し易くなるよう、家族会員を設け案内を開始した。  
また既に家族で入会されてる方にはご案内をした。
- ②Le Club TTC の活性化  
平日月例（3D、4～5D クラス）3年目になり定着し参加者も増えてきた。  
10回開催 197人（前年対比40名増）
- ③賛助会員数600人を目指したが552人に留まった。入会に興味がある方をリストアップし2020年度に向け強化を図る準備を進めた。
- ④寄附金の税額控除の説明  
アンケート調査でも確認し、ル・クラブ等の集まりに説明会を実施した
- ⑤練習会ガイドラインの確認・ゲーム形式  
全ての練習会の内容をガイドラインを見直し、再度確認し統一化を図った
- ⑥Le Club TTC の活性化
  - ・LPJ、楽しいお茶会の実施  
参加スタッフの担当を確認し、特に初めての参加者には丁寧なご案内を心掛け実行した。9回開催 294人参加（昨年対比20人増）
  - ・年間MVP（シングルス&ダブルス）表彰  
月例トーナメントをポイント制にし、夜の部、昼間の部、シングルス・ダブルスの年間MVPを決定し、表彰を行った。
  - ・各イベントの参加者リストの整理と声掛け  
過去のイベント参加者のリスト整理をし、告知後、お誘い等を行った。
  - ・テニスをプレイする、サポートする、観戦する楽しさを広げることを目的にパラリンピック観戦チケットを手配した（20名分）。
  - ・観戦ツアーを実施（国内・外）  
木更津ツアー 実施  
津幡ツアー、オーストラリア観戦ツアーは人数が集まらずキャンセルした
- ⑦クラス別月例会の実施（昼、夜）
  - ・平日クラス別月例の実施  
10回開催 197人参加
  - ・ダブルス月例スペシャルの実施  
月に1回 月、土曜日  
各12回開催 404人参加
  - ・シングルス月例スペシャルの実施  
各月木曜日 10回開催  
12回開催 138人参加

- ・予備日利用月例スペシャルの実施(週末利用)  
開催なし

⑧賛助会ゴルフコンペの開催 年3~4回案

95回 7月4日 34人(雨天中止)

96回 10月31日 33人参加

⑨新規入会、継続のお願い

- ・スタッフの賛助会入会、継続のお願いをした。
- ・賛助会員の練習会、イベント参加への声掛けをリスト整理し行った。
- ・Le Club TTC の中心になる方々へ協力をお願いをした
- ・近隣・地域と協力、連携を図った
- ・TTC の理事、評議員の方々へ入会のお願いをした(現在35名、59%)
- ・TTC 利用団体等、グループへお願いを行った。
- ・TTC と関わりのある業者の方々へ入会、継続のお願いを行った
- ・Le Club TTC へ入会のご案内を各担当コーチより行った
- ・Le Club TTC の方々には、MFA の取得、そしてヴォランティア参加を促した

⑩その他

- ・寄付金の税額控除の説明等を繰り返し行い、受益者負担の拡大を図り入会に繋げるよう努めた。
- ・事務の簡素化を図り継続率の向上に努めた。
- ・永年継続(10年)していただいた方に感謝の意を込めてお礼状と記念品を TTC ニュースに御礼とお名前を掲載した。なお、10年を越して賛助会継続 15人を掲載。

4. 経費計画(予算計画・年間100千円超える支出)

- ・ネームプレート作成した  
10年を越して賛助頂いた方々に名入れ銀製ネームプレートをお送りした  
2019年使用分 15個 200千円  
10年を越して賛助会継続を頂いた方々に銀製ネームプレートをお送りした。

5. その他

- ・寄附の受付について 寄附申込書(パンフレット)の作成しそれに基づき、寄附の受付を Web 上で検討しシステムが出来上がった。

【ヴォランティア】

1. 総括

今年度も楽楽テニスを始め、ピヨピヨ親子テニス教室、かしわスポーツフェスティバル、Jr トーナメント、かしわ国際オープンテニストーナメント、その他各種イベントに年間を通して539名の方々のご協力・ご支援を頂いた。



また今年度も柏市内のスポーツ団体、近隣の高校、大学のテニス部の協力、ローピングや大会運営にとして協力を頂き、さらに緊急時に備え、応急処置法の実習をヴォランティア講習会として行った。

また、TTC の日々の活動に協力を頂く半面、TTC からヴォランティアとして近隣への協力等も行い、地域との連携が広がって来ている。これらの講習会も含め活動の様子や、募集・お知らせすることで良き理解者が増えており継続実施していく。

## 2. 活動報告

### (1) ヴォランティア講習会の実施

・ 応急処置の対応	7月	8人
緊急時の対応、安全管理に留意するよう講習会の実施		
・ バラの手入れ 実習	1月	2人
・ ピヨピヨ親子ショートテニス教室	6,12月	62人

### (2) イベント、トーナメントへの協力

・ ピヨピヨ親子ショートテニス	6/10 30名、12/4 32名	合計	62人	
・ 毎週のおはようキッズテニス	3名×47週(年間)	合計	141人	
・ 楽楽テニスのグループリーダー	毎水曜日 3名(年間)	合計	120人	
・ 全国選抜ジュニアの運営協力			10人	
ジュニアトーナメント、イベント等の運営				
（ヨネックス、TTCジュニア、プロッホ等）				
			合計	40人
・ かしわスポーツフェスティバル	柏商工会議所 青年部、各スポーツ団体等			
			合計	24人
・ 関東ジュニアテニスツアー(4週間)	県立柏高校テニス部等	合計	12人	
・ ITF かしわ国際オープンの運営協力(7日間)			30人	
・ ウェルフェア			8人	
・ 三井不動産マスターズの運営補助/協力				
			柏商工会議所女性会等	18人
			東京都高校体育連盟	58人
・ KAZUKO 杯の集客サポート			2人	
・ ピーナッツカップの運営サポート、ローピング等			12人	
・ その他(バラの手入れなど)			2人	
			合計	539人

TTC側からも地域の夏祭り等も含め柏市、近隣町会、各団体との交流も一層広がり協力体制が出来た。

## 3. その他実績

(1) サービスエースへ活動記録(SA:顧客管理システム)を行った。

- ・ ヴォランティア活動をSAに入力し、情報の共有を図った

・その他

※ボランティアの方々の意見を聞くなどし、単に仕事の手伝いやまた特定の人に偏らないように声掛けし活性化を図った。

(2)皆様方への情報提供として

- ・M.F.Aの取得の呼びかけを実施した。
- ・ボランティア掲示板の活用しご案内をした。
- ・Aグレードイベントでは、近隣の高校、大学に声掛けをし学生ボランティアを依頼し県立柏高校、市立柏高校の協力を頂いた。
- ・2020オリンピック、パラリンピックの準備として東京都高校テニス連盟の協力を頂いた。

【Le Club TTC】

1.総括

2019年6月に練習会の料金改定（昼1250円、夜1750円）を実施した。

練習会参加者目標を4,000人としたが、2019年度は4,191人の参加者となり目標より+191人という結果となった。平日月例は、順調に参加者を増やし（特に4・5Dクラス）人気のイベントとなっている。6月の料金改定で、ある程度の減少は想定内であったが、10・11月の大型台風及び2・3月の新型コロナウイルスによる影響は想定外であった。

2.収入実績

- (1)年間売上目標 9,511千円  
実績 8,074千円 達成率 84.8% (対昨年比 +615千円)
- (2)練習会目標 6,338千円  
実績 6,145千円 達成率 96.9%
- (3)その他、イベント&ツアー目標 3,173千円  
実績 1,976千円

3.月次練習会の実施と参加人数実績（月例・LPJ含む）

(1)実施月	月次合計	2018年度比較
4月	388人	8人
5月	359人	14人
6月	381人	-56人
7月	391人	71人
8月	367人	25人
9月	390人	-2人
10月	325人	-44人
11月	317人	-45人
12月	225人	5人

1月	319人	26人
2月	358人	-7人
3月	371人	-12人
	合計 4191人	(2018年度比較 -17人、月平均-1.4人)

(2) 月例トーナメント実施

- |                |   |
|----------------|---|
| ①月例シングルス       | 木曜日 21時30分～24時 年12回開催<br>138人 (2018年度比較 -19人) |
| ②月例ダブルス        | 月曜日 20時～22時30分 年12回開催<br>193人 (2018年度比較 4人)   |
| ③月例ダブルス        | 土曜日 21時30分～24時 年12回開催<br>211人 (2018年度比較 5人)   |
| ④平日月例ダブルス 3D以下 | 木曜日 9時～12時 年 回開催<br>68人 (2018年度比較 -13人)       |
| ⑤平日月例ダブルス 4・5D | 木曜日 9時～12時 年 回開催<br>129人 (2018年度比較 53人)       |

(3) 土曜LPJの実施

実施日程	参加人数	お茶会テーマ
4月6日	29人参加	・かしわ国際オープンテニストーナメントご案内 インソール、ミューラージャパン様ご紹介 4月30日石川県津幡町懇親会（ヴァンヴェール参加）ご案内
6月1日	27人参加	・DUNLOP 全国選抜ジュニアフィードバック （チャータリングデータを基に）強化部門の 森コーチによる紹介 トリプルス体験会ご案内
7月6日	37人参加	・夏の熱中症対策講座（宇治野トレーナー） 8月予定の『津幡 YOU 遊ツアー』ご案内 七夕、短冊に願いを込めて
9月7日	34人参加	・全日本 Jr ダブルス優勝報告 （稲葉コーチ、長門桃子選手もゲスト参加） 七夕抽選会
10月5日	36人参加	・ストリング張替キャンペーンご案内 9月30日開催、トリプルストーナメント報告 10月1日開催、第35回ヴァンヴェール報告 賛助会ご案内
11月2日	30人参加	・ピアノ演奏者、日下文葉氏を招いてピアノ演奏

		秋の歌を参加者の皆様と合唱
12月7日	30人参加	・国枝慎吾選手をゲストに招き、2020オリンピック/パラリンピックに向けての抱負を語っていただく
2月1日	41人参加	・足裏測定会『スーパーフィート』ご案内 3月開催予定のトリプルストーナメントご案内
3月7日	30人参加	・新型コロナウイルス対策のためお茶会は中止 (3密を守り、バトルダブルスのみ実施)
年9回開催		合計 294人 (2018年度比較 20人)

(4) 水・木曜 LPJ 他クラブとの交流及び対抗戦

実施日程	参加人数			
6月19日	TTC チーム 9人	あびこチーム 10人	計 19人	
9月18日	TTC チーム 9人	あびこチーム 12人	計 21人	
12月5日	TTC チーム 10人	あびこチーム 14人	計 24人	
2月27日	TTC チーム 10人	あびこチーム 10人	計 18人	
年4回開催			合計 82人	(昨年度比較 39人)

(5) イベント&ツアー実施

①春ヴァンヴェール

実施日程	参加人数
5月1日	15チーム (1チーム4人編成、補欠2人可) 60人+ランチのみ7人 計 67人

②秋ヴァンヴェール

実施日程	参加人数
10月1日	12チーム参加 (1チーム4人編成、補欠2人可) 計 48人 春、秋ヴァンヴェール 収入実績 548千円 達成率 85.6%

③サマーMix ダブルスチームマッチ (2日間開催オープン・トライアルクラス)

実施日程	参加人数
7月13日、7月15日	24チーム参加 (1チーム4人編成、補欠2人可) 計 100人 収入実績 416千円 達成率 76.4%

④バレンタインMix ダブルスチームマッチ (2日間開催オープン・トライアルクラス)

実施日程	参加人数
2月8日、2月9日	31チーム参加 (1チーム4人編成、補欠2人可) 計 143人 収入実績 555千円 達成率 102%

⑤ミッドナイトバトルダブルス

実施日程	参加人数
7月20日	計 58人 収入実績 67千円 達成率 74.4%

⑥忘年チャリティバトルダブルス

実施日程	参加人数
12月28日	計91人 収入実績115千円 達成率95.8%

⑦初打ち大会

実施日程	参加人数
1月3日	計196人

⑧クレサンテーム

実施日程	参加人数
毎週金曜日 13時30分～15時	計94人 収入実績47千円 達成率123%

⑨ノルディックウォーク

実施日程	参加人数
毎月2回	計83人 収入実績108千円 達成率85.7%

(6) TTC 外部トーナメント

①新春シニアテニス大会（千葉県シニアテニス連盟主催）

1月24日開催

②柏市クラブ/事業所対抗（柏市テニス協会主催）

クラブ事業所対抗戦前期大会 7月15日

クラブ事業所対抗戦後期大会 2月16日

③柏市民大会及び選手権大会（柏市テニス協会主催）

春季市民大会 4月4日

夏季市民大会 7月14日

秋季市民大会 10月6日

④千葉県クラブ対抗（千葉県テニス協会主催）

1月11日、1月12日、1月13日、1月16日、1月17日、1月18日

1月26日

上記外部トーナメント、賛助会員/Le Club 会員多数参加

(7) 国内外ツアー

①ばらツアー

実施日程	参加人数
5月23日	計20人 収入実績117千円 達成率57.3%

②木更津ぼんぼこ大会ツアー

実施日程	参加人数
6月3日	計6人 収入実績19千円 達成率105%

③津幡 YOU 遊ツアー 中止

④オーストラリアンオープン観戦ツアー 中止

## 管理部門（法人会計）

### 【経理】

#### 1. 総括

経理の要となる業務 PCA 会計システムのクラウド移行を 7 月に完了した。会計事務所とのクラウド共有で業務の効率化が進んだ。消費税法改正後、実務レベルでの対策を実施するなど、今後も区分経理体制の確立を進める。内閣府の立入検査においては、まずまずの評価を得ることができた

#### 2. 年間実績

- (1) 会計システムのクラウド移行完了 [7 月] 会計事務所のデータ共有開始 [9 月]
- (2) 消費税法改正後の実務に与える影響を最小限に抑え経理体制の強化を図った。
- (3) 管理業務の遂行 [理事会・評議員会・全体会議] 事業計画・事業報告・議事録作成など内閣府検査も問題無く評価された

#### 3. 活動実績

- (1) 会計システムのクラウド化による帳票のペーパーレス化（会計事務所月次：50 枚減）
- (2) 考察力を養い責任感を持ち、管理業務を遂行した結果、事務事故ゼロであった。
- (3) 経理部門と事業部門との連携の強化・年間のイベントサポートを積極的に行い、多様な業務経験により「自ら考えて動く」意識と姿勢を身に付けられた。  
3 年毎に実施をしている会員対象の「アンケート調査」の集計を任せられ実行した。
- (4) 経理業務を遂行する為の情報共有と経理スタッフの勉強会を行った。[3 回/年]  
8 月－勉強会(1) [就業規則]・12 月－勉強会(2) [ペーパーレス] [消費税の基礎]  
2 月－勉強会(3) [TTC スタッフとしての自覚] [経理スタッフに求められること]  
ナレッジを共有することにより、チームの知識の底上げを行い、情報共有により個人やチームの生産性を高めることができた
- (5) 経理業務で必要な知識習得の為、積極的に研修・セミナーに参加【資格】を取得した。[PCA クラウドセミナー] [全国公益法人協会・夏期特別講習会] [消費税] [キャッシュレス]  
[PCA 働き方改革] [公益法人協会・会計セミナー] 【働き方改革検定・働き方マスター資格取得】【ペーパーレスアドバイザー・2 級取得】

#### 4. 経費実績

- (1) PCA クラウド（5 年版）：1,150 千円に対し、1,149 千円と計画通りの結果であった。
- (2) 人材育成（セミナー参加費）：30 千円の計画を大きく上回り 72 千円の結果であった。  
新体制に向けて必要な研修が重なったことが要因である。

### 【広報】

#### 1. 総括

春秋キャンペーンでの体験者総数 220 名、入会者数 164 名で入会率は 74. 5%であった。体験

者の媒体でホームページと答えた方は春が 33.6%、秋が 33%となった。今年度のリスティング広告は”指名キーワード”に広告を出さない設定で臨んだが、結果に大きな差異は見られなかった。ホームページの情報発信については各セクション毎に情報更新が定着し、リスクマネジメントが着実に進んでいる

## 2. 活動実績

### (1) TTC 内の PR

①春のキャンペーンでは、体験者数 Ad68, Jr59 で、前年比 Ad△1, Jr+1 と横ばいだが、Ad の入会率が 58.8%で前年度比で 10.7 ポイント落ち込んだ

春の総体験者数は 127 名、内ホームページから 46 名で 33.6%であった

秋のキャンペーンでは、体験者数 Ad68, Jr59 で、前年比 Ad△5, Jr+15 とジュニアが堅調で、入会率では Ad が 52.4%で前年度比で△26.3 ポイント、Jr は 96.1%で前年度比で 1.7%のプラスとなった

秋の総体験者数は 93 名、内ホームページから 31 名で 33%であった

②掲示板からのインフォメーション

フロントセクションの協力により第一駐車場掲示板の更新が安定し、イベント案内の掲示板についても各セクション毎に月別の表示に切り替えるが適時おこなわれている

③館内掲示の充実

A グレードイベント、かしわ国際オープンと全日本車いすテニスマスターズの館内表示方法について検討してきたが、コストが掛かりすぎる判断から見送りとした。

④ホームページのカスタマイズ

2018 年度より検討してきた、①vent vert ②レディースチームテニス ③ヴァレンタイン ミックス(サマーミックス)の Web エントリーについて、コストが掛かりすぎる判断から見送りとした

また、スポーツ科学セミナーのオンライン配信や会員専用アーカイブページを検討したが年度内の構築は難しいと判断し見送りとした

### (2) TTC 外への PR(集客・情報の発信)

①リスティング広告

今期は、指名キーワードによる広告を表示しない設定で効率化をはかった。結果として、広告から体験ページに流入する数字が前年の 5%と激減し、期待された自然流入の増加は見られなかった。一方、入会者数に大きな差異が無かったことも明らかになった。

②プレスリリース

かしわ国際オープン、かしわスポーツフェスティバルに加えて、イギリス車いすテニスチームキャンプのプレスリリースを柏市記者クラブに実施し、毎日、朝日、東京、柏市民新聞、柏市広報、テニス雑誌スマッシュ FB ページなどに掲載された他、J:COM でニュース配信された。テニス雑誌のテニスマガジンでは、5 回にわたりスポーツ科学セミナーの特集

が掲載された。

### ③柏の葉エリア戦略

柏北部東地区では、3年で1,500世帯増加計画で進んでいるTX柏の葉駅構内のポスターを新調し、柏駅東口デジタルサイネージからかしわ国際オープン、かしわスポーツフェスティバルの配信を実施した

### (3) Webからの情報発信について

①ホームページについては適時、フューチャーズやハイパフォーマンスプログラム所属選手の情報を18記事をアップした。また、車いすテニスプログラムの戦績や受賞歴の更新を行った

### ②お客様の声

新たなお客様の声の追加実施は無かった

### ③SNSの活用

FBページは、総投稿数652件(前年634件)。その内、動画が31件。総リーチ数925,307件(前年828,158件)

一昨年7月にスタートしたインスタグラムは、フォロワー数1,875人。

### ④スポンサーの露出

法人賛助39社、協賛企業60社の協賛メリットの一つとして、ホームページに掲示し、随時、変更や追加など維持・管理を行った

### (4) 企画セクションとの連携

企画と柏市とも連携し、かしわスポーツフェスティバルやかしわ国際オープンをPRし、TTCの認知度とブランドイメージのアップを図った

### (5) TTC ニュース

年間3回の発行をした。巻頭ページは次の3氏に寄稿いただいた。6月号、間野義之氏(早稲田大学教授)『スポーツビジネスと地域活性化について』、10月号古賀貴裕氏(ヤフー株式会社ブランドマネジメント室/TTC評議員)『車いすテニスとTTCとの係わり』、1月号坂井利郎氏(公財日本テニス協会副会長/TTC評議員)『私のテニス履歴書』

### (6) 30周年記念誌

記念誌に代わり、映像によるTTCの歴史や未来に関しての情報発信に替えるための準備を進めてきた

### (7) 経費実績(単位:千円)

- ① リスティング広告・・・961千円(7サイクル/2018年度9サイクル)
- ② 看板広告料・・・・・・ 80千円(4箇所→1箇所に変更)
- ③ TTC NEWS・・・・・・116千円(3回分)
- ④ 柏の葉ポスター・・・・986千円(柏の葉/年間)
- ⑤ HP関係  
・トップページおよびお知らせ機能・・・778千円  
・HP保守費用・・・・・・1,570千円(年間)



## 【企画】

### 1.総括

年間協賛金実績は 17,460 千円と 124 千円の未達だが、ここ数年の協賛企業実績は年々上がっている。また A グレードの赤字解消を計画し、車いすテニスマスターズを対前年比約 300 千円のプラスに転じることができたこと、新規イベントを立ち上げ大口企業 2 社計 2,000 千円の新規契約は TTC の活動を広め、深い理解をもって支援へと繋げられた成果である。その他、新規 7 社 110 千円（50 千円 1 社、10 千円 6 社）の獲得は更なるサステナビリティを追及し、慎重にロイヤリティの向上を図ったことが成果としてでた。

### 2.実績

協賛金目標 18,700 千円 実績 17,460 千円(達成率 93.4%) 前年比+1,974 千円  
内、新規獲得実績 新規 9 社 2,110 千円（1,000 千円 2 社、50 千円 1 社、10 千円 6 社）

### 3.活動実績

(1)法人賛助・協賛企業活動の推進・管理について実績は上記の通りであり、セールスシートのリニューアルを図り A グレードトーナメント（車いすテニストーナメント）の赤字解消、新規イベントを企画し大口企業の新規年間契約 2 社 2,000 千円を獲得した。

□実績 新規 9 社 2,110 千円（1,000 千円 2 社、50 千円 1 社、10 千円 6 社）  
前年比 +1,520 千円

(2)PR 部門と協力スポンサーメリットの拡充（最寄駅 TX 柏の葉の大型広告やパンフ等のリニューアル）を図り、協賛・協力先を増やした

(3)柏市のホームタウンチームや NPO 法人スポーツライフと連携し、各イベントのロイヤリティの向上に努め、売上をあげた

(4)培ってきたネットワークを駆使し、地域の企業や団体、学校と大型の新規イベント実施や新規協賛金を獲得するなど、地域への貢献も含め TTC の存在価値の拡大を図った

(5)各イベントトーナメント最終日に地域協力団体と連携し別イベントを実施し、集客増へ繋げイベントサポートを行った

(6)地域貢献活動の推範・協力としては、夏祭りの協力、神輿祭りスタッフの意識も向上し協力できた。新規開拓地である柏たなかでは新規イベントを立ち上げ、地域貢献並びにレッスン生の新規獲得へ繋げた

地元田中地区イベントは以下の通り、

- ①ゴミゼロ運動 (5月) イベントと重なり参加できず
- ②花野井ふれあい祭り (8月) 総勢 24 名の参加協力 (内 4 名はジュニア選手)
- ③芋煮会、防災訓練 (11月) イベントと重なり参加できず
- ④香取神社神輿祭り (7月) 総勢 8 名 昨年に続き近隣スポーツ団体と一緒に参加し、スポーツの力で盛り上げた

⑤柏たなかファミリーフェスタ（5・10月）＊新規イベント

⑥5月来場者 2800人 10月 1700人（小雨のため）

⑦柏たなか地区からの体験、入会

5月～8月：体験 22名（全体 115名） 入会 18名（全体 59名）

9月～11月：体験 41名（全体 105名） 入会 36名（全体 77名）

#### 4.主な地域貢献活動

各団体への協力金 支出計画 11件/110千円 実績：9件/90千円

### 【施設管理】

#### 1.総括

レンタルコートの上については直近5年間で最高金額を達成する事ができたが、コート稼働率は大きく減少してしまった事が次年度の課題事項として残った。

要因は第2インドアコートの運用を確定させる事ができなかった点である。

経費管理についてはLED化が先送りとなった事もあり目標対比12%オーバーとなったが、次年度は目標値達成できるよう準備をすすめていこうと考えております。

寄付金に関しては、多くの皆様のご協力で目標を超える寄付ができました。

経費計画については、TTC全体の予算の関係上一部計画を先送りした事で目標対比68%で終了となった。先送りした計画は次年度で実施できるよう進めていきます。

#### 2.収入・予算計画と実績

収入計画 3,900千円（レンタルコート使用料）

（参考：直近3年の推移）

2017年 4,438千円

2018年 4,448千円

2019年 4,603千円（達成率114%）

#### 3.活動実績

##### (1)空コートの有効活用

JOP大会を2019年度は12回実施し次年度分として平日の昼に12回で申請済み

収入計画 648千円 実績 893千円（達成率137%）

##### (2)外部イベントへのレンタル

2018年度利用いただいた団体様は2019年度もすべてご利用いただいた

##### (3)コート稼働率アップについて

###### ①（直近3年の推移参照）（6時～24時）

2017年 インドアコート 84.7% アウトドアコート 54.4%

2018年 インドアコート 84.2% アウトドアコート 57.1%

2019年 インドアコート 70.8% アウトドアコート 51.3%

###### ②早朝の活用

早朝時間稼働率アップのためテニプロとの年間契約締結した  
収入実績 979 千円

③サービスエース（会員システム）の掲載

昨年からトーナメント予備日をサービスエースに掲載する事が周知され一定数の  
顧客により年間予約をいただいた

(4)第2インドアコートの稼働率アップ

スポンサーとの運用ルールの策定に時間がかかり、想定以下での稼働率に留まった

(5)イギリス車いすテニスチームのキャンプ実施

2019年8月6日～10日 9時～17時で実施した(施設利用料 707千円)

4.経費管理について

(1)経費総額目標 8,500千円 実績 9,542千円（達成率 112%）

①電気代

2019年11月に契約電力会社を変更しさらなるコストカットに成功したが、  
予算の関係で館内LED化が先送りとなった

②水道・光熱費

水道に関しては有効な節水器具を検討したが選定には至らなかった

③コピー

契約単価の見直しを実施した

(2)システムの維持管理・改良

2019年度は6台を実施済み

(3)コート・建物の維持管理

①1番、2番コート補修完了

②館内エアコンの入れ替え完了

③インドアコート横排水溝フタ交換（アルミ化）については先送りとした

(4)設備関係

駐車場維持管理のため料金の値上げを実施済み

(5)各種団体への募金（目標総額 400千円）

チャリティーラッフル・ウェルフェアを実施して593千円の実績となった  
募金団体は以下の4団体とする

①公益財団法人 日本ユニセフ協会 . . . . . 59千円

②財団法人 世界自然保護基金ジャパン (WWF J) . . . 59千円

③乳癌撲滅啓蒙運動 . . . . . 59千円

④TTC ジュニア基金・TTC 車いすテニスすみれ基金・416千円

(6)企画部門のサポート

地域協力団体との協調のため地域イベントのサポートを行った  
(花野井町会祭り、香取神社夏季例大祭)

## 5.その他経費予算と実績

予算	館内清掃	420 千円	実績	420 千円
	駐車場定期点検	240 千円	実績	240 千円
	会員カード	540 千円	実績	432 千円
	メンテナンス費用	600 千円	実績	602 千円
	パソコン入替	600 千円	実績	600 千円
	側溝蓋交換	400 千円	実績	0 千円
	コート補修	14,800 千円	実績	14,800 千円
	館内 LED 化	6,500 千円	実績	0 千円
	エアコン交換	2,000 千円	実績	2,000 千円
	コート照明工事	3,000 千円	実績	1,500 千円
	年間合計予算	29,100 千円	実績	19,920 千円

### 【経営その他事項】

#### 1.総括

4年振りに、内閣府の立入り検査が10月に実施され、概ね良好な水準で評価された。  
また、4年に一度の役員改選を実施し6名の交代が完了した。

#### 2.実績

##### (1)理事会・評議員会の運営について

定時理事会3回実施した他、臨時理事会を2回実施した。

- ・第一回定時理事会 2019年5月31日開催
- ・第二回臨時理事会 2019年6月17日書面票決にて代表理事決議
- ・第三回定時理事会 2019年11月6日開催
- ・第四回臨時理事会 2020年1月10日書面票決にて基本財産の預け替決議
- ・第五回定時理事会 2020年3月6日開催

評議員会は6月17日に開催し、年間スケジュールに沿った運営ができた。

##### (2)役員の改選

評議員の改選は、6名の改選があった。理事会に於いては、代表理事の複数制を実施した。

##### (3)制度の見直しについて

- ①一部、人事制度(給与体系)の改定は将来の退職金制度を恒久的なものにしていく為制度変更を実施した。なお、予算2,000千円で計画したが、アドバイスを頂き内部で改正に取り組んだことで費用の発生は無い。
- ②就業規則の見直しについては、期の終盤に社会保険労務士を換え見直しに取り組んだが実行は来期に持ち越した。

③保険制度の見直しについては、検討したものの改定には至らず。レッスン中に発生した事故について1年以上に亘り対応をして来たが、無事解決したことから特段制度の見直しをする要因にはならなかった。

(4)30周年記念事業について

2020年11月20日に、30周年記念式典を計画し記念品(Tシャツデザイン)や記念誌に代わる映像制作の為のプロジェクトチームを立ち上げた。

(5)固定資産税軽減措置への取組み

平成30年8月から取組んで来た固定資産税の評価見直し及び課税引き下げを交渉して来たが、令和2年2月に柏市側が評価見直しを決定した。

結果、年間固定資産税が約1,400千円、過去11年まで遡及が決定した。

以上